

仕事と家庭の両立支援モデル事業所

株式会社 日本生物製剤

■業 種／医薬品等製造 ■常用労働者数／86人(男性44人、女性42人)
■所在地／久留米市藤光町枝光735-14、他市内3カ所

取り組み内容

- 育児休業取得者は、過去3年間で5人。また、男性社員の取得実績があり、人事担当者が積極的に取得を促している。
- 育児休業中は2カ月に1回、現状や復帰後の働き方の聞き取りを行い、復帰しやすい職場環境を整備している。

業務のローテーションや各々の習得努力を通じて 誰が休んでも仕事が滞らない組織づくり

市内工場でプラセンタ(胎盤)を原料とした慢性肝炎の治療薬(注射剤)などを製造している株式会社日本生物製剤。直近の3年間で育児休業を5人が取得し、全員が職場復帰。残業が少ない勤務体制に変える努力をし、法定よりも長い期間の産前休業や、復職後の時間短縮勤務の導入など仕事と家庭の両立がしやすい環境が整えられています。3年前には男性社員が、5日間の育児休業と年次有給休暇を合わせて1カ月間休みを取得しました。

「当社の経営方針は、働きやすい職場環境をつくるために国が示す休業制度を積極的に取り入れていこうという考えです。現場では、いつ誰が休業申請してもいいように、専門化された業務を日頃から複数の社員でローテーションしながら、習得できるように取り組んでいます。男性の育休も周りが理解し、どうカバーするかです。みんなの力が合わさってできたことです」と、大國啓造工場長は話します。



代表取締役社長

りん ほん そく

林 泓錫 さん



▲大國啓造工場長



▲育児休業を取得し復職した
小野安佳里さん(左)、豊郁恵さん(右)



▲いつ誰が休業申請しても、仕事が滞らない組織づくりに
取り組んでいます

2度の産休・育休を取得した後、復職した豊郁恵さんは次のように話します。

「産休・育休を取ることは特別ではなく当たり前のことになってます。復職後は時短勤務を活用し、子どもが病気の時には勤務後に病院に連れて行くことができました。子どもを持つ先輩社員が働きやすい環境を整えてくださり、仕事にも打ち込みやすい会社だと感じています」

現在2人目を妊娠中の小野安佳里さんは、同じ会社に勤務する夫と協力し合って子育てと仕事を両立しています。

「子どもが早いスピードで成長していく時期に、育休を取ってそばで見守ることができて良かったです。復職後、子どもが病気の時にはお迎えや病院に連れて行くことなど夫と分担して、仕事と両立しています。残業が少ない会社だからできることです。もうすぐ2人目を出産予定ですが、産休・育休を取り、復職にも不安なく臨めそうです」



日本生物製剤
ラトリエール藤光 外観▶